

3 市民と一緒に未来をつくる基本政策

■子育て環境日本一の小金井

本市の人口は、昨年10月に、市制施行以来、初めて12万人を突破したところですが、我が国全体を見渡すと、急激な人口減少は避けて通ることのできない重要な問題であると考えます。持続可能な小金井市をめざすためには、子どもを産み、育て、子育てに関わるすべての方々を支援する、

模化に向けた取り組みを進めます。また、本年4月から、さららび学童保育所およびみなみ学童保育所の2施設について学童保育業務の民間委託を実施することとし、円滑な移行となるよう最大限の配慮を行ってまいります。さらに、放課後における子どもの居場所を充実させるため、一体型の放課後子どもプランを推進してまいります。

学校教育につきましては、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という点に着目し、将来幅広い分野で活躍できる能力を身に着けるために、引き続き「生きる力」をはぐくむ教育を実践することが必要であると考えております。

本市の教育施策は、これまでも長く市民の皆様を支えられ、地域に根ざした教育環境を築いてまいりました。このすばらしい伝統を途絶えさせることなく、時代が要請する質的転換や「恩師に出会える学校」という視点を大切にしなが、教育の質の向上を強く進めてまいります。

このほか、学校施設においては、学習の場、生活の場としてふさわしい環境の整備を行い、すべての子どもたちに笑顔があふれるまちづくりを進めてまいります。

■健康・幸福・長寿(※2)・やさ

愛(※3)の小金井

高齢者の皆様が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることのできる地域社会の実現は市民共通の願いでもあり、各種の計画を相互に関連させながら地域共生社会の実

現をめざしてまいります。高齢者福祉につきましては、地域包括ケアシステムのさらなる推進・深化を図るべく、生きがいのある充実した生活の支援、地域で自立して暮らし続ける仕組みづくり、地域の支え合いの輪の拡充に引き続き取り組んでまいります。



ご当地介護予防体操【小金井さくら体操】

また、ひとりの暮らしや高齢者のみの世帯が増加することを見据え、市認定ヘルパー制度の推進を図ります。加えて、本年5月には、市内3つ目となる特別養護老人ホームの開設が予定されており、地域に根ざした高齢者福祉の拠点の一つとして、その活躍に期待したいと考えております。

続いて、障がい者福祉につきましては、早期に「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」の制定をめざしてまいります。その他、パラリンピック選手をお招きした講義を開催するなど、差別的解消に向けた取り組みを拡充してまいります。

福祉・健康に関する各種の施策につきましては、活力あるまちづくりの源と考えております。「健康・幸福・長寿・やさ愛の小金井」を実現すべく、これからも着実に歩みを進めてまいります。

■歩いて楽しいにぎわうまち小金井

本市には、豊かな自然や歴史ある建造物など魅力ある観光資源がたくさんございます。「あるものさがし」そして「あるものみがき」の視点を大切に、市内に新たなにぎわいを創出したいと考えております。

市制施行60周年記念事業につきましては、ロゴマークとキャッチコピーを選定し、10月7日に予定しております小金井 宮地楽器ホールで行う記念式典を中心として、節目の年にふさわしく記憶に残る事業を実施してまいります。

魅力発信につながる取り組みにつきましては、江戸東京の「衣・食・住」をキーワードとして新たな都市型観光の魅力を創出する「江戸東京でおもてなし事業」を継続して実施するとともに、市立はげの森美術館においては、他県に所在する公立美術館との共同巡回展を開催いたします。



市立はげの森美術館

本年4月には「nonow a 武蔵小金井ムサコガーデン」がオープンし、近隣には家族で楽しめる公園の整備も予定されていますので、新たなにぎわいがまた一つ生まれることを大変喜ばしく思っております。

一方、「歩いて楽しいにぎわうまち小金井」を実現する

ためには、市民生活を根幹から支えるライフラインを整備することは非常に重要だと考えます。特定緊急輸送道路の沿道建築物の所有者の方々に耐震補強設計、耐震改修などに関する知識の普及啓発や助成制度等に係る情報提供に努めるほか、電線地中化に向けてチャレンジ路線の選定に着手するなど、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

他方、市内から発生する廃棄物の処理につきましては、一日たりとも滞ることがあってはなりません。本市においては、日野市・国分寺市と共同で設立した浅川清流環境組合において安定した可燃ごみ処理の準備を進めており、資源循環型社会の形成に資するため、平成29年度末までに「清掃関連施設整備基本計画」を策定し、平成30年度には、施設整備に向けた支援業務の発注や予定地の測量業務などを実施する予定です。中間処理場や空き缶・古紙等処理場などの既存施設の整理、二枚橋焼却場跡地の活用等を含む再配置につきましては、これまで同様に地元の方々への感謝を忘れず、慎重かつ丁寧に協議を進め、安定的な適正処理の維持・継続に努めてまいります。

■地域がいのちを守るまち小金井

始めに、昼夜を問わず市民の生命、財産を守るために幅広く活動をしていただいている消防団員の方々のご家族の皆様へ、心から感謝を申し上げます。



市消防団による訓練

大規模災害の発生に対しては、防災力の向上が求められています。「自助」「共助」「公助」の精神に基づき、災害に強いまちづくりの実現をめざし、各防災関係機関との連携の強化や地域住民の防災力の向上に努めるほか、平成30年度には「災害廃棄物処理計画」を策定してまいります。

また、空き家等への対応につきましては、「空家等対策計画」を策定し、防災、衛生、景観など市内の生活環境の保全を図るための取り組みを進めてまいります。

市内の犯罪の発生や、振り込め詐欺等の被害が後を絶たない状況にあります。防犯指針に基づき取り組みを進めるとともに、引き続き「こきんちゃんあいさつ運動」や自動通話録音機の無料貸与に取り組みほか、市民防犯講習会の開催など、円滑で効果的な防犯協力体制づくりをめざしてまいります。

■湧き水と緑・桜を守るまち小金井

みどりと都市が高度に調和するまちづくりは、市制施行以来、一貫して市民の皆様とともに創り上げてきたかけがえのない財産であります。平成30年度においては、「公園等整備基本方針」を策定し、本市にふさわしい公園のコンセプトや、低未利用公園等の

在り方などを整理する中で、小金井らしいみどりをより一層、守り育ててまいりたいと思っております。さらに、市民農園につきましては、くりやま市民農園を本年4月から再開することも新たに(仮称)ぬくいみなみ市民農園を開設するため、必要な準備を進めてまいります。このほか、学校給食における小金井産野菜の使用拡大などにより、都市農業の保全に資する取り組みを積極的に進めてまいります。



くりやま市民農園

■スポーツ・文化都市小金井

東京2020オリンピックピック・パラリンピック競技大会開催まで残り2年あまりとなりました。平成30年度におきましては、オリンピックを招へいたした競技クリニックの開催や、市民まつりの会場内にパラリンピックスポーツの紹介ブースを設置するなど、スポーツの力と価値を改めて見直す契機とし、本市にとりまして大会後のレガシーとなるよう努めてまいります。また、市制施行60周年記念事業では、本年10月に都立小金井公園において「特別巡回フラジ才体操・みんなの体操」の実施を予定しており、市民の皆様にとりまして、生活習慣病の予防や健康を保持・増進す